

平成28年6月8日  
公益財団法人沖縄県畜産振興公社

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の  
補填金単価（概算払）について  
【平成28年4月分】

平成28年4月に県内の契約生産者が販売した交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成28年3月25日付け27農畜機第5583号）附則10の概算払の補填金単価については、下記のとおりです。

なお、補填金単価の確定値については、平成28年8月上旬に公表する予定です。

記

沖縄県

肉専用種
— 円

注1：平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。

注2：平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。  
精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。

注3：概算払いは、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円を控除した額としています。  
ただし、控除した額が1,000円未満の場合は概算払いを行いません。

注4：補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。

注5：平成26年度より消費税抜きで算定しています。

注6：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記ホームページで公表します。

<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>

## (参考1)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)  
【平成28年4月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,223,158
生産コスト (B)	946,912
差額 (C) = (A) - (B)	276,246
暫定補填金単価 (D) =   (C)   × 0.8	—
補填金単価 (概算払) (D) - 4,000	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,223,158
主産物価格 ① = a × b	1,213,824
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,616
枝肉重量 (kg) b	464
副産物価格 ②	9,334
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	946,912
物財費 ③	856,641
もと畜費	489,079
飼料費	302,217
流通飼料費	301,150
麦類	10,553
とうもろこし	10,427
ふすま	9,754
かす類	8,201
配合飼料 (暫定値)	213,905
稲わら	23,964
その他	24,346
牧草・放牧・採草費	1,067
敷料費	11,422
光熱水料及び動力費	10,239
その他の諸材料費	229
獣医師料及び医薬品費	7,438
賃借料及び料金	3,996
物件税及び公課諸負担	4,985
建物費	11,777
自動車費	5,150
農機具費	8,606
生産管理費	1,503
労働費 ④	65,942
家族	60,200
費用合計 ⑤ = ③ + ④	922,583
支払利子 ⑥	13,330
支払地代 ⑦	460
と畜経費 ⑧	10,539

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

## 主産物価格及びもと畜費の算定

### 1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

#### 【算定に用いる卸売市場等】

沖縄県農業協同組合（沖縄県食肉センター、八重山食肉センター、九州協同食肉(株)）  
全国畜産農業協同組合連合会（サンキョウミート(株)有明第二工場）

### 2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（(独)農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

#### 【算定に用いる家畜市場】

八重山家畜市場、今帰仁家畜市場、南部家畜市場、曾於中央家畜市場、  
宮古家畜市場、多良間家畜市場、伊江家畜市場、久米島家畜市場、  
黒島家畜市場、都城地域家畜市場、与論家畜市場、  
平戸中央家畜市場